

上越市における通級指導教室での デイジー教科書の活用事例



上越市教育委員会学校教育課
指導主事 山崎 彰



事例をしてみる



紹介内容

1 上越市の通級指導教室（通級）について

- ・市独自で設置されたLD通級
- ・教室環境

2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について （実践校：上越市立飯小学校）

- ・対象児童
- ・活用までの経緯
- ・活用場面
- ・デイジー教科書による効果
- ・まとめ

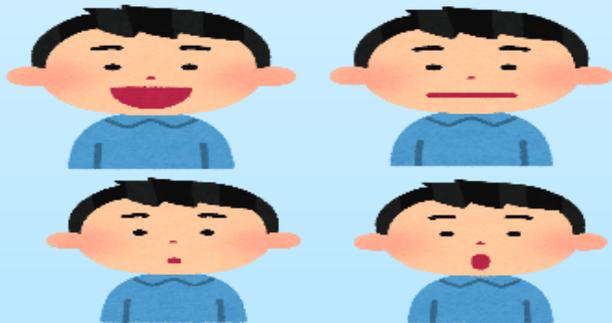
1 上越市の通級指導教室（通級）について

上越市では、言語・難聴・発達・LDの4つの通級が設置されています。

◇言語障害通級指導教室（ことばの教室）

○発音、吃音、言葉の発達など、ことばに関する相談や指導を行う。

①言語通級の指導例

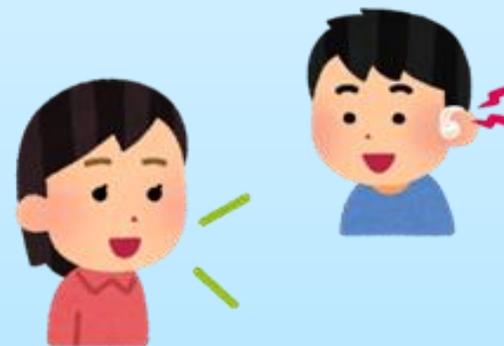


正しい発音を聞いたり話したりする学習

◇難聴通級指導教室（きこえの教室）

○音や言葉の聞き取り、聞き分けなど、きこえに関する相談や指導を行う。

②難聴通級の指導例



自分の聞こえにくさを理解する学習

1 上越市の通級指導教室(通級)について

上越市では、言語・難聴・発達・LDの4つの通級が設置されています。

◇発達障害通級指導教室

○人との関わり方等の社会的スキルや、特性に応じた学び方に関する相談や指導を行う。

③発達通級の指導例



小集団での自己紹介の学習

◇LD(学習障害)通級指導教室

○「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」等への苦手さについて相談や指導を行う。

④LD通級の指導例

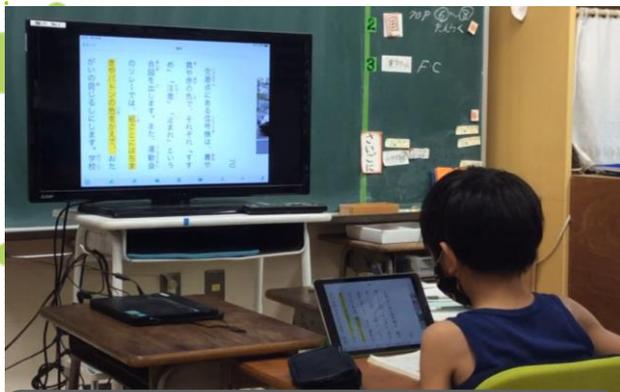


タブレットによる視覚認知
トレーニング

※LD通級は市独自で小学校4教室、中学校4教室設置されています。

1 上越市の通級指導教室(通級)について

上越市立飯小学校LD通級の教室環境(ICT機器活用や個に応じた支援)

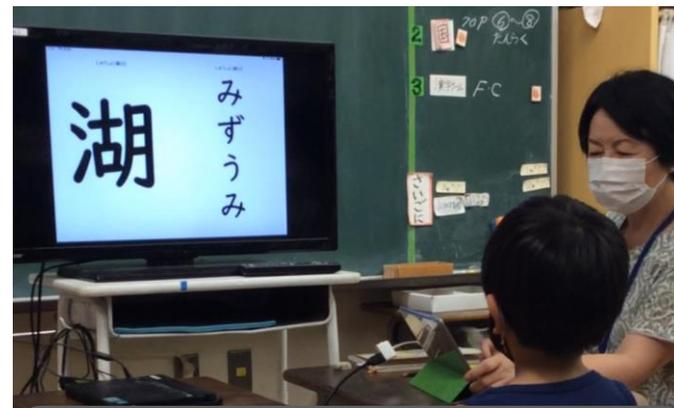


タブレット端末とモニターへのミラーリングによる視覚的聴覚的支援

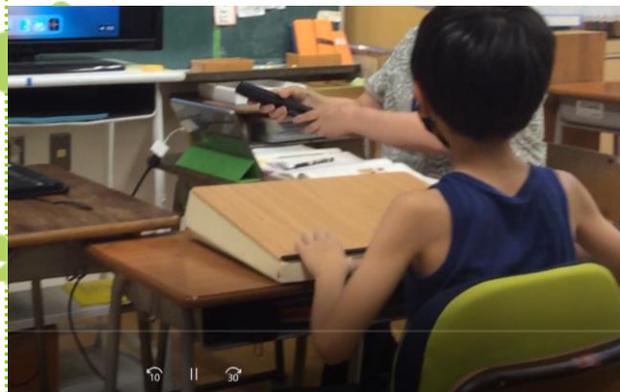


デージー教科書の活用

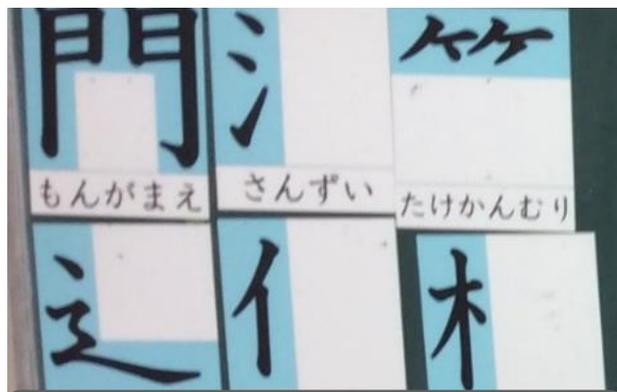
引用:マルチメディアデージー教科書 マニュアル
<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/textmanual.html>



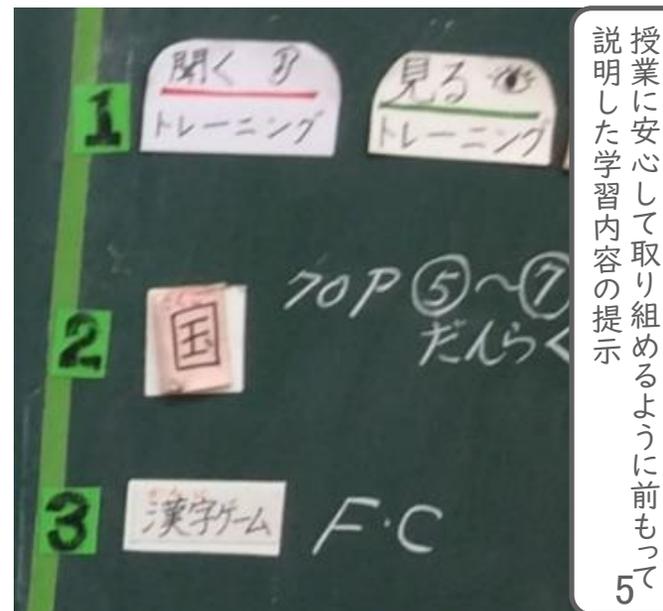
新出漢字の読みを確認するフラッシュカード



読み書きがしやすくなる書見台や姿勢が保持しやすくなる椅子のクッションなどの環境調整



児童の特性に合わせた視覚的な支援となる教材



授業に安心して取り組めるように前もって説明した学習内容の提示

2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

対象児童:小学3年生(動画撮影時) 通常学級在籍

通級利用歴
→2年生7月から

指導形態
→個別指導

利用頻度
→週2回

指導教科
→国語

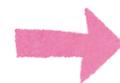
医学的診断
→なし

利用主訴
→読みと作文の苦手さ



2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

活用までの経緯



①対象児童の実態の共有と支援方策の検討から保護者との合意形成を経てLD通級の利用へ

②LD通級指導員の参観やWISC-IV、LDI-Rなどのアセスメント



③LD通級の利用開始



④いろいろな教材や指導方法を試行



引用：マルチメディアデイジー教科書 マニュアル
<https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/textmanual.html>

⑤デイジー教科書の利用を開始

2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

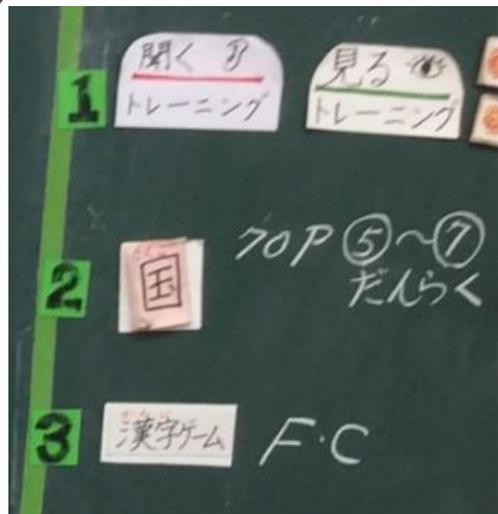
授業の流れ

- ①前時の児童自身の音読を聴く
- ②教科書の漢字にルビをふる
- ③デイジー教科書の範読を聴く
- ④音読を録音する
- ⑤録音した音読を聴く

2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

①前時の児童自身の音読を聴く





黒板の右側の「授業内容」で進み具合を確認し、児童に見通しをもたせていました。

見通しをもつことで、児童が安心して授業に臨めます。安心なくして学習への意欲や理解、定着はあり得ません。「そうだね」「いいね」などの声かけでも児童は安心感をもちます。



前時の音読を視聴して、少しでも上手に音読できることを目指します。

児童は「上手にできたところ」から自信をもち、「うまくできなかったところ」から、今回気を付けることを確認します。

録音することで、「うまくできた音読を残したい」という目的意識をもたせ、音読の上達につなげていきます。

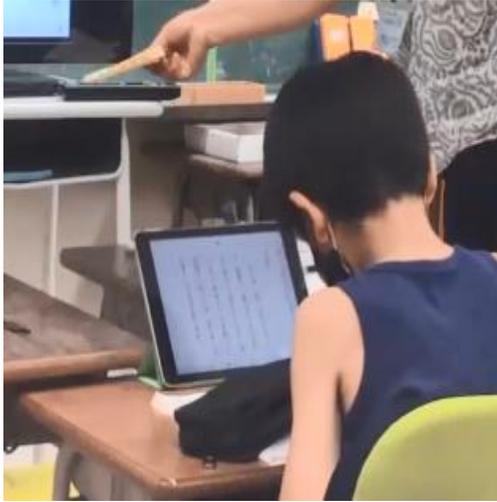


2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

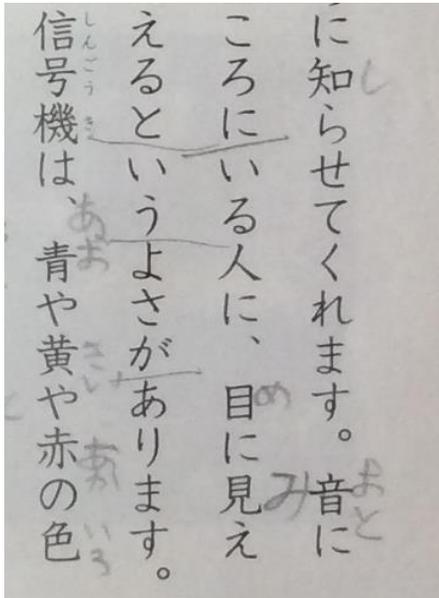
②教科書の漢字にルビをふる



漢字のルビふり



新出漢字だけでなく、既習漢字の読みに不安があると、児童は音読に集中しにくくなります。教科書は「音読」と「内容の読み取り」のための教材と割り切りました。教科書にルビを振ると「読みを覚えなくなる」懸念もありますが、読みを覚える教材はプリントやドリルにして、教材の役割分担を明確にしています。

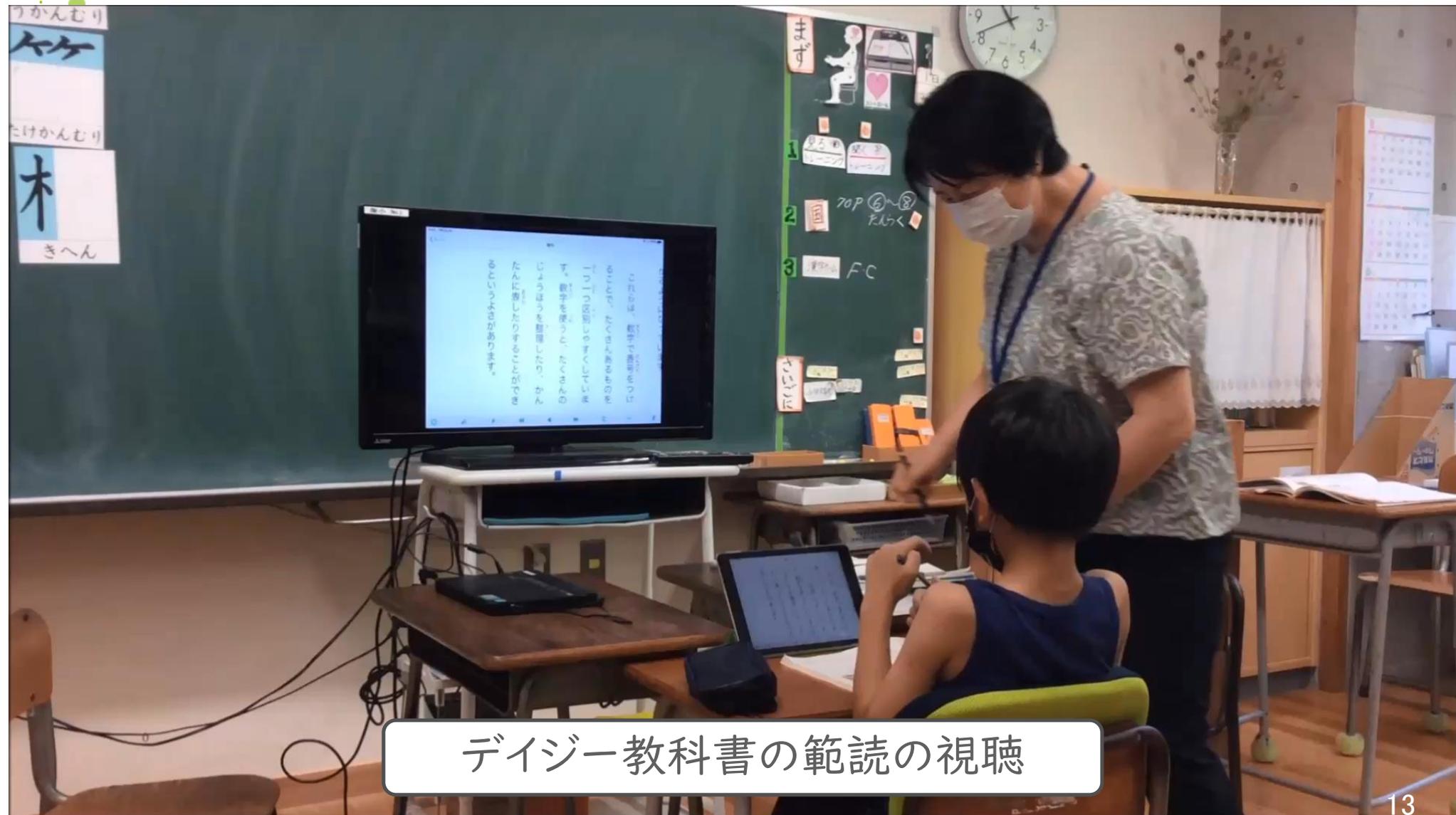


これは、児童が書き込んだルビの一部です。「目」「見える」など、ルビが無くても読めそうな字もありますが、安心して音読するためには、児童にとって必要なのです。今後は、慣れてきたら「ルビを消しても大丈夫なものは消してみようか?」という支援も考えられます。

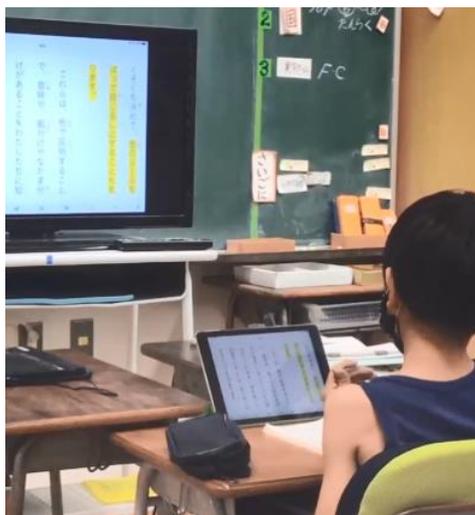
読み間違いをしないように、区切り線を入れています。

2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

③ デイジー教科書の範読を聴く



デイジー教科書の範読の視聴



児童の音読を録音する前に、デイジー教科書の範読を視聴します。前もって範読を視聴することで、安心感をもてます。

児童がデイジー教科書の操作に慣れて自分で操作できるようになると、学習への満足感が高まり、意欲の向上や維持につながります。

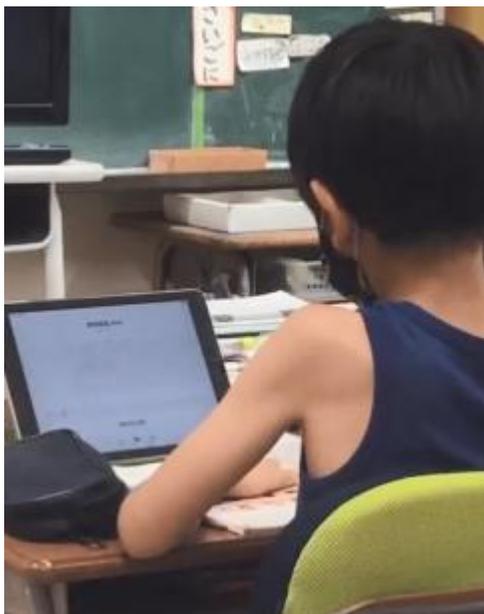


2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

④音読を録音する



音読の録音



音読の録音は、うまくいくときばかりではありません。しかし、うまくいかなかったときでも、「自分から録り直す」「録音を聴いてから録り直す」「やる気を失ってしまい、別の活動をして気持ちを切り替えてから録り直す」など、児童に合わせて様々な対応をしています。

「上手な音読を担当の先生やお母さんに聴かせたい」という気持ちがあるので、投げ出さずに取り組めています。

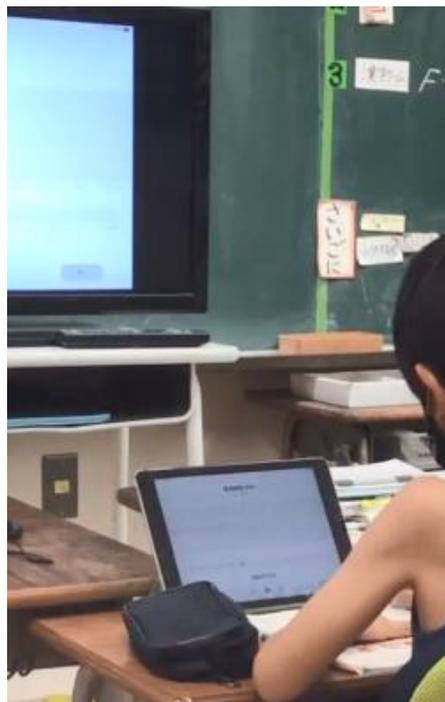


2 LD通級でのデイジー教科書の活用事例について

⑤ 録音した音読を聴く



録音した音読の視聴



- 児童の音読では、
- ①前時の音読を聴く
 - ②漢字にルビを振る
 - ③デイジー教科書の範読を聴く
 - ④音読を録音する
 - ⑤録音したものを聴く
- の流れで進めました。

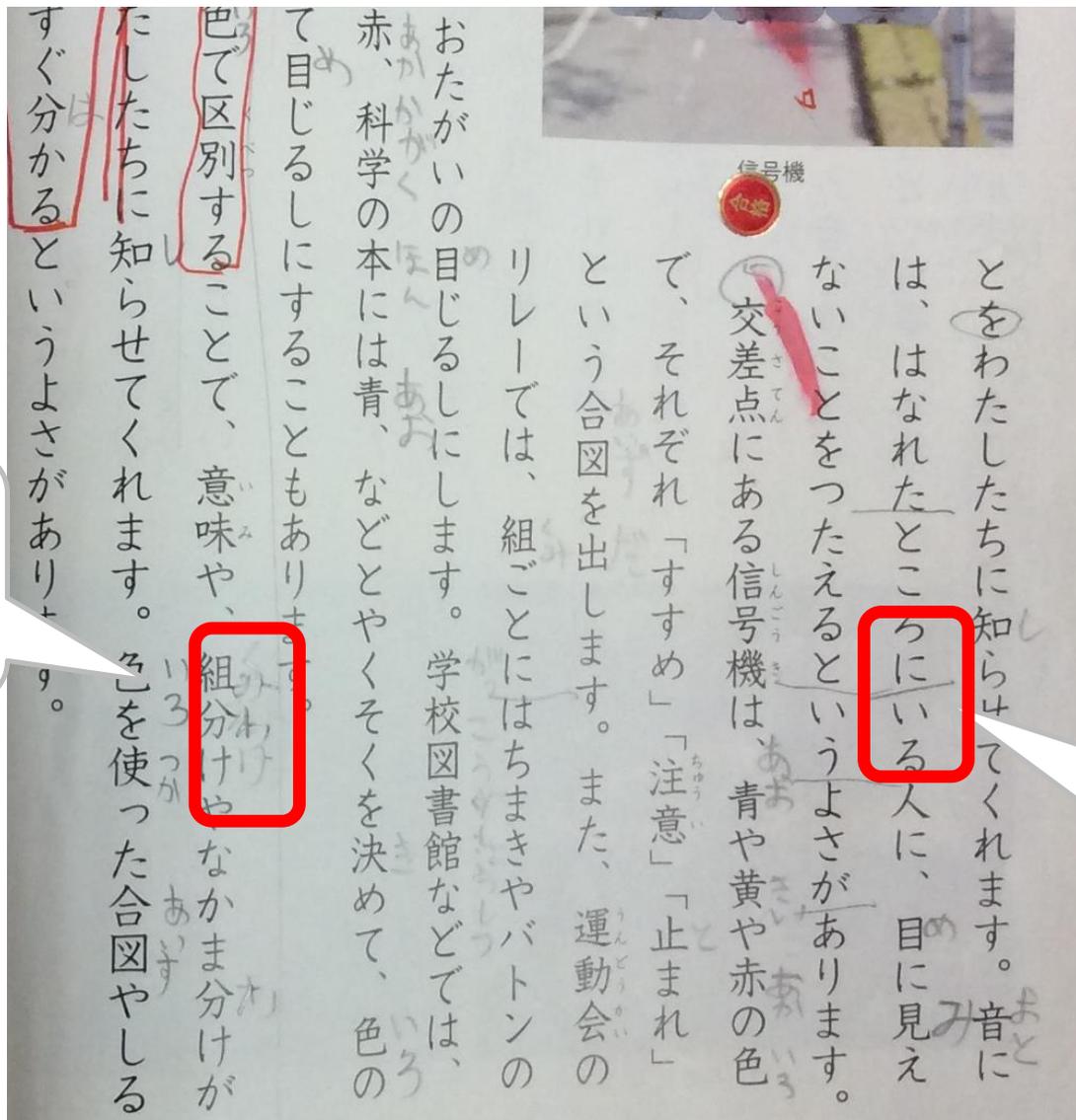
見通しと準備によって安心して音読し、録音を聴いて成果を実感する、という配慮によって苦手な音読に取り組めました。



デージー教科書による効果

○デージー教科書のルビ書きを見て教科書にルビを書き込む。

→**児童のペース**でルビふりができる。



デージー教科書を見ながら児童が書き込んだルビ

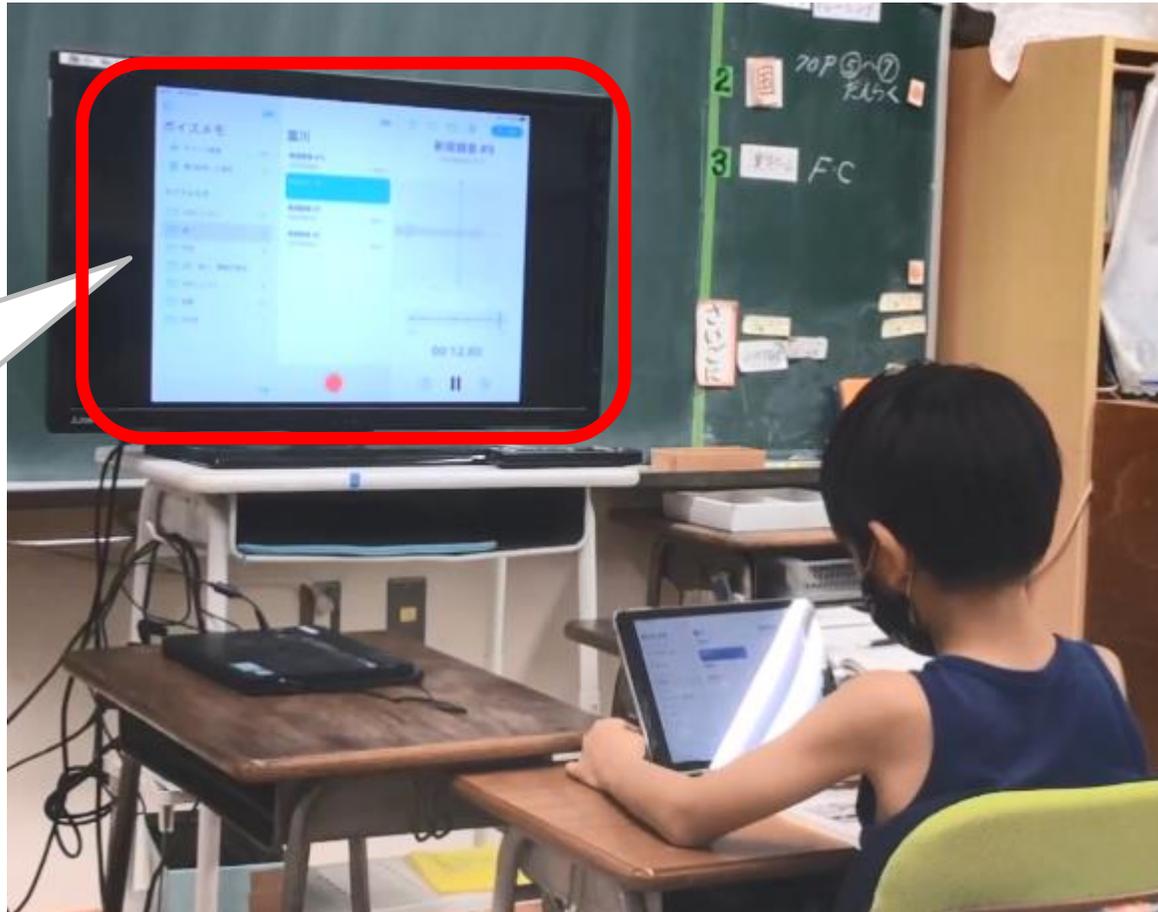
練習しながら音読しやすいように書き加えた区切り線

デジ教科書による効果

○デジ教科書の範読を聴く。

→**範読がお手本**となり、音読しやすくなる。

範読と自分の音読を聴き比べることで、読み間違いや上達に気付ける。



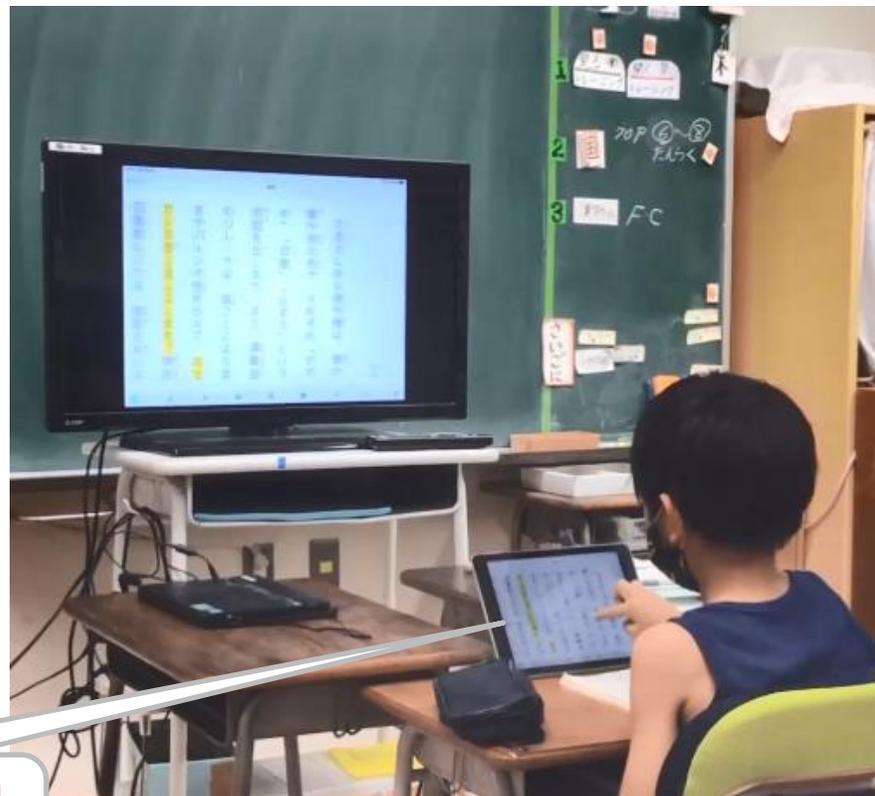
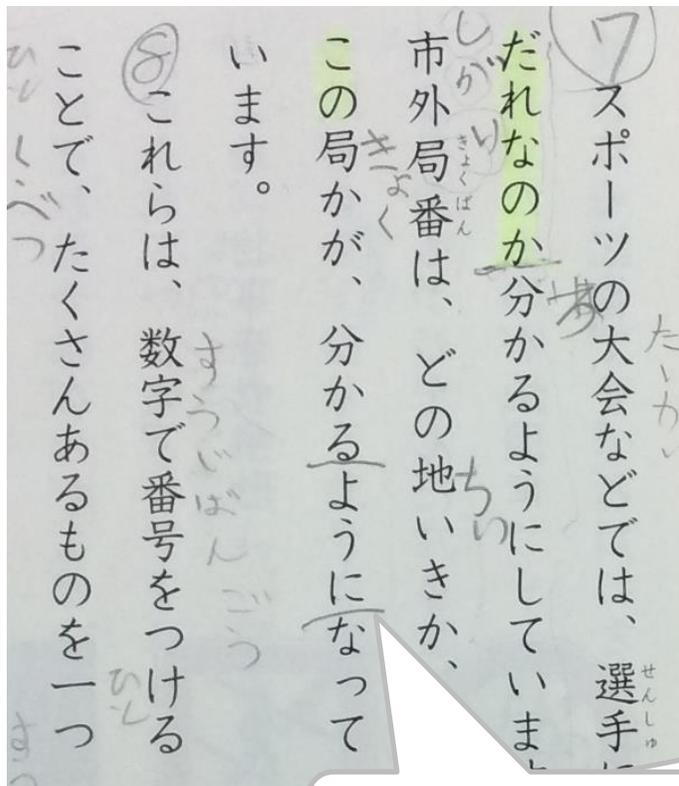
モニターに映すこと
で、**教師は離れて**児
童の操作を把握し**見
守る**ことができる

デジター教科書による効果

○操作に慣れれば支援者がいなくても使用できる。

→指導者が変わったり、家庭学習で指導者がいなかったりしても、

ルビふりや**範読を聴く**などが自主的にできる。



自分で操作できるため、**自主的に学習を進め**られる

デジター教科書による効果

○自主的に範読を聴いたりルビふりしたりする姿勢や音読の上達などを**学級担任**
や**保護者に動画や写真で伝える**

→児童を**ほめる材料**となる

ほめられることで対象児童の学習意欲が維持・向上される

ほめる材料



学習意欲の維持・向上



LD通級と通常学級担任との連携・保護者の認識



学級担任

通級でデイジー教科書を使って予習音読したり漢字を予習したりして、学級の友達がまだ読めない漢字を本児に答えてもらうことで活躍できました。

また、国語のスピーチの学習では、事前に通級で録画した本児の発表動画をお手本として提示しました。通級利用により、本児は自分で考えることが増え、余裕や自信をもって学習に取り組めるようになりました。

おうちの方が通級の学習ファイルや授業参観を通して、本児が楽しく学習に取り組んでいることを何より喜び、家庭でたくさん褒めてくださったことで、学級での学習もさらに意欲的になりました。

学力検査の点数の伸びに喜びました。
著しい成長が見られたのは、通級でのご指導による成果・成長であるとともに、通常学級担任の先生の配慮やサポートのお陰です。



保護者

まとめ

対象児童は、通級利用7カ月ほどでNRT学力検査の数値が前年度より国語が10数ポイント、算数が数ポイント上がりました。読むことへの苦手さが通級の指導によって軽減され、国語だけでなく算数も向上したと考えられます。通級で学んだことを通常学級で発揮したり、保護者からほめられたりすることで、苦手な学習であっても、児童は継続して取り組むことができました。

動画にあったように、児童がデイジー教科書を使って「漢字のルビをふる」「範読を聴く」などの学習を自ら進め、自立活動が展開されていました。教師が操作を見せる→児童が操作する→教師がほめて強化する、というサイクルの積み重ねによるものです。タブレット端末の画面をモニターでミラーリングして、教師が児童から「離れて」見守ることで、児童は「自ら学べた」ことをより強く実感することができました。

上越市立飯小学校のLD通級では、児童の自立を意識した授業が展開されていました。このように児童が「自ら学べた」という喜びを感じ、意欲的に学習していけるよう、今後もデイジー教科書のよりよい活用方法を探っていきます。



ご視聴ありがとうございました



「上越忠義隊けんけんず」は上越市のPRマスコットです。
上杉謙信公のふるさと・上越市を全国にPRしています。